

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ソルガムコンソーシアム
事業主体 (連絡先)	信州そるがむで地域を元気にする会 信州大学工学部 SASTec 長野市若里 4-17-1
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり農業)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,461,647 円 (うち支援金: 1,011,000 円)

#### 事業内容

穀類の一つであるソルガムは、SDGs やゼロカーボンとなる耕作放棄地対策・からだに優しい健康食・エネルギー変換等、地域に有益な食物。その為にまずはソルガムを知って貰う活動を実施した。

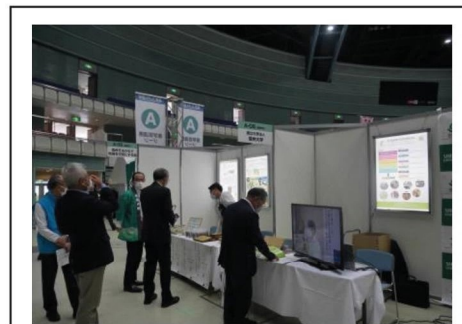
- ・活動組織の立ち上げ (信州産そるがむで地域を元気にする会)
- ・ソルガム種の選択・評価
- ・ソルガム子実の活用研究
- ・ソルガム茎葉の活用模索
- ・認知向上 (キックオフシンポジウム、産業フェア in 信州、等)

#### 事業効果

- ① 純信州産のソルガムの種 (糯種) の機能性が確認でき、粳種と糯種の両刀出来ることが分かった。
- ② 子実の商品化としては
  - ・麵化への可能性確認
  - ・粉品質の確認
  - ・搾汁液からのシロップの可能性確認により展開範囲が大きく広がった。
- ③ 会設立から半年で会員63人となった。本会の活動に注目を頂き、TV ニュースや新聞掲載された。更に、これにより栽培希望の問い合わせが10件以上あった。成果報告会をビデオ配信により誰にでも見ることが可能になり、常時の技術情報発信が出来た

#### 今後の取り組み

更にもっとソルガムを知って頂くためのPR活動に取り組む。  
安全な食材としての地位を確立するために栽培から商品化までの品実向上を実施していく。  
ソルガム栽培が農福連携の実現に有効。これを活用して地域を元気にしていく。  
長野県限定で、長野県にしか無い種のソルガムも新たに栽培し流通させていくことで、ソルガム商品化推進に取り組む。



【 産業フェア in 信州】

#### 【目標・ねらい】

- ① 魅力のある品種選定
- ② 商品化
- ③ ソルガムの認知向上

#### ※自己評価 【 A 】

##### 【理由】

コロナ対策で変更は有ったが、代替策により計画通りの実施完了。期待以上の会員入会となった。栽培についての問い合わせが急増した。糯種栽培が見えたことから新たな商品の可能性が高くなった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	いいづなシードルガーデン 2021
事業主体 (連絡先)	いいづなシードルガーデン実行委員会 カシヨ株式会社 FC 開発課内/内山俊樹 携帯 080-3916-3275 <a href="mailto:uchiyama@kashiyo.com">uchiyama@kashiyo.com</a>
事業区分	主となる区分/ (6) 産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり) 関連する区分/ (6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,398,000 円 (うち支援金 : 1,850,000 円)

## 事業内容

りんご生産量全国第2位の長野県。りんごを原料にするお酒「シードル」の認知・普及とりんご農家の活性化を目指し、スマホを使用するスタンプラリーと、YouTube上のナガノシードルチャンネルでシードル醸造所を紹介する番組「オンライン醸造所見学会」を4回、及び「飯綱町のりんご特集」のライブ配信を実施。

- ・スタンプラリー7/1~8/31
- ・オンライン醸造所見学会 7/30, 8/6, 9/3, 8/20
- ・飯綱町のりんご特集 8/27



【番組配信の様子】

## 【目標・ねらい】

- ①シードルの認知と普及
- ②りんご農家の活性化
- ③シードル事業者の販売活性化

## 事業効果

- ①シードルの認知と普及/スタンプラリー参加者数が236名、ONLINEでの番組配信では視聴者数が640名に上り、ある程度は認知が進み、普及にも繋がった。
- ②りんご農家の活性化/醸造所見学会・飯綱町特集の番組配信内で先進的な農家の取り組みを紹介した。
- ③シードル事業者の販売活性化/スタンプラリーでの売上(予測値)が417,000円に上った。

## ※自己評価【 B 】

## 【理由】

スタンプラリーでのスタンプ獲得目標値1,000回に対し、261回にとどまったが、番組配信視聴者数の目標値500回に対し640回と目標を上回った。

## 今後の取り組み

いいづなシードルガーデン実行委員会では、8年前から飯綱町サンクゼールワイナリー本店を舞台に毎年5月にシードルのイベントを実施してきた。しかし今年も昨年に続きコロナ過でリアル開催は叶わず、オンラインでの「スマホdeスタンプラリー」と「ONLINE いいづなシードルガーデン」を実施した。オンラインは対面に比べ、コミュニケーションの濃度に限界はあるが、その反面、距離・時間的な制約が無くなる為、新たなユーザーを取り込むことができる。今後はリアルとオンラインを組み合わせたイベントも視野に入れ、認知層をさらに拡大し、深堀していきたい。具体的には、ナガノシードルチャンネルを継続し、長野県産シードルをテーマにした番組を配信することで認知層を広げ興味を喚起させる。そこをきっかけにりんご産地やシードル醸造所をリアルに訪問するといった導線を企画・設計したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある